

今回は、下準備をしっかりと先生方との打ち合わせに臨むよう心掛け、子どもたちや先生、保護者の方々の笑顔を励みに、チームティーチングで行う英語の授業のアシスタントとして活躍されている田川由紀子さんの実践報告です。

# J-SHINE 通信

2016年12月号

田川由紀子 さん

J-SHINE小学校英語上級指導者。  
広島県広島市の公立小学校英語指導アシスタント8年目

## ■ J-SHINE資格、上級指導者資格取得のきっかけ

2000年に小学生時代の恩師に英語とは関係のない有償ボランティアを依頼され、地域の小学校と関わりを持つようになりました。その流れで2001年より2校で総合的な学習の時間の外国語活動の非常勤講師として活動させていただくこととなり、1年生から6年生各クラス年間数時間ずつ授業を受け持ちました。当時はマニュアルやテキストなどはなかった為、担任の先生方と内容を相談し自分たちで一から授業を作っていく形でした。その様な活動の中でよりよい授業をするためにもっと勉強したいと思い、アルク児童英語教師養成コースを受講して2007年に小学校英語指導者資格を取得しました。その後、広島市のAIE（英語指導アシスタント）の試験があることを伺い、受験しました。試験合格後1校で勤務させていただくこととなりました。2010年に授業時間数等の条件を満たした上で、当時の学校長から推薦をいただき、上級指導者資格を取得しました。

## ■ 現在の活動状況

現在は広島市内の2校でAIEとして小学5、6年生の授業をチームティーチングで1クラス年間35回有償にて働かせていただいています。基本的には広島型カリキュラムのマニュアルに従って担任の先生と二人で役割分担をして授業をしています。年間10回以内でALTが来られるので、その際は三人で役割分担をして授業を行います。2校とも子どもたちは明るく授業を楽しんでくれるように思います。学級担任も人間的に素晴らしい方が多いので助けていただきつつ活動しています。またALTも素敵な方が多いので子どもたちは少し日常と違う授業に興味津々です。チームティーチングを行うためには打ち合わせが不可欠です。先生方は非常にお忙しいので大変なのですが、いつもきちんと時間を取ってくださいます。私もなるべく短い時間で有意義に打ち合わせができるようにチャートを描く、リクエストに沿えるよう複数の案やゲームプラン等を用意するなどの下準備をしっかりと臨むよう心がけています。ALTとは授業の流れなどの打ち合わせはもちろん、それ以外にも授業で役立つ色々な質問をし合ったり、ゲームを盛り上げるためのコツなどの意見交換をしたりしてお互いに情報を収集しています。

やりがいについてですが、一言で言うなら子ども、先生、保護者の笑顔です。4月には自信なさそうに下を向いたり、ぼそぼそと話していた子どもたちが少しずつ進歩していき、友達との英語でのコミュニケーションを楽しんでいる様子や、ALTと一緒に給食を食べる際にジェスチャーなども使い、友達と協力して積極的に英語で会話しようとし、通じた際の嬉しそうな様子は本当に頼もしく私も同じように嬉しくなります。担任の先生方からはいつも本当に多くのことを教えていただき、日々勉強させていただいています。そんな中で先生方から「英語を通してクラスが変わってきたよ。」「子どもたちの個性が輝いてきたよ。」「子どもたちが個性を尊重するようになったよ。」「最初は少し抵抗があったけど今は英語の授業をするのが楽しいよ。」などと笑顔で言っていただく事もあります。本当に有り難く感謝の瞬間です。保護者の方から「晩御飯の時に嬉しそうに習った事を話すのよ。」「英語のあった日は単語クイズ出されるのよ。」「発音が私と全然違ってびっくりしちゃった。」などとやはり笑顔でコミュニケーションを取ってもらえるのも心強く励みになります。

## ■ 今後の展望・課題・目標

小学校でゲームなどの活動が面白かったというだけで終わるのではなく、中学校での学習に繋がる展開にしていくことを設定して授業を行っていくことはもちろんですが、担任の先生方が仰っていたように『一人の人間として他の人と様々なものを共有し、協力しながら自分の足で立って生きていくことのできるような人間形成の為の手段の一つとしての英語教育』といった側面も大事にしなければと思っています。

今後も小学校英語は2020年の高学年の英語教科化に伴い、多くの変化があると思います。その中で役に立てるように自己研鑽を怠ることのないよう努力をしていきたいと思っています。そして現在小学校英語に関わっておられる方々、もしくはこれから関わろうとしておられる方々と共に情報・意見交換をしながら、子どもたちの英語学習の支援を続けていく事ができればと心より願っています。